「平成28年度海ごみ発生抑制に係わる体験学習業務」香川県受託業務

「故郷（ふるさと）の海レスキュー隊計画2017」実施報告書

■委託者　：　香川県
■受託者　：　海守さぬき会
■実 施 日：①平成２９年３月１９日（日曜日）
　　②平成２９年３月２０日（月曜日）２日間
■実施場所：①香東川河川敷（高松市勅使町・香川高専高松キャンパス西側付近）
　　高松沖男木島周辺海域・男木大井海水浴場・東瀬戸漁業協同組合倉庫付近
　　男木コミュニティセンター会議室
　　②東男木コミュニティセンター会議室
■参 加 者：　高松市立第一小学校（２年生～６年生）１９名、保護者５名　計２４名
　　（実施日当日体調不良のため３年生１名欠席）
　　みずしま財団　　１名　　海守さぬき会スタッフ　７名　参加者総勢３２名
■集合場所：　高松市こども未来館（たかまつミライエ）正面玄関前
　　高松市松島町一丁目15番１号
■業務実施
　　概要：①1日目

●河川敷に於いて海に流出可能な河川ごみを「河川バージョンICC調査基準」に基づく、河川ごみ調査を体験し、海ごみ発生抑制に係わる実態を学習しました。

●高松沖男木島周辺海域での東瀬戸漁業協同組合所属漁師の底曳網漁を海上タクシーより視察・見学し、海底堆積ごみと漂流ごみの実態を学習しました。

●男木島海水浴場での漂着ごみを「国際海岸クリーンアップ・　ICC（International　Coastal　Cleanup）」の国際基準に基づく、海岸漂着ゴミ調査を体験し、海ごみの総合的な実態を学習しました。

●東瀬戸漁業協同組合倉庫周辺（屋外）で漂着ごみ調査時に回収した海ごみを利用したビーチクラフト教室を開催しました。

●男木コミュニティセンター会議室に於いて、招聘講師による海ごみ問題の総合的座学学習会を開催しました。

②2日目

●男木コミュニティセンター会議室にてマイクロプラスチックの回収方法体験すると共に、2日間の体験学習の総括として海ごみ問題体験学習会に参加しての子供達全員の意見と感想発表会を開催しました。

■業務実施内容：

＜１日目：３月１９日＞

◇　７時３０分：集合（たかまつミライエ）　◇　７時３５分：集合場所を貸切バスで出発

◇　７時５０分：香東川河川敷（勅使町付近）到着

中條隊長よりレスキュー隊結団式（任命式）

◇　８時００分：河川ごみ回収 ICC 調査開始

＜河川ごみ ICC 調査（回収）開始＞

◇　８時３０分：河川ごみ回収後、川ごみ調査カード（JEAN 提供）へデータ集計作業開始

＜僅か３０分での凄いごみの量に隊員は驚いていました＞

＜川ごみ調査カードへごみ一つ一つ記録＞

＜回収ごみの重量も計量＞

『川ごみ調査データ』（詳細集計カード及びデータ表別紙添付）

調査面積：川幅約５０ｍ×長さ５０ｍ＝約２，５００㎡

重　　量：可燃ごみ 29.8ｋｇ・不燃ごみ（ビン・缶）2.9ｋｇ・合計 32.7ｋｇ

数　　量：飲料・食品の容器包装類＝３２０点（　４３％）

飲食以外の容器包装類　＝２４５点（　３３％）

タバコのフィルター等　＝　５３点（　　７％）

生活用品等　　＝　１７点（　　２％）

その他　　＝１０３点（　１５％）

合　　計　　＝７３８点（１００％）

＜参加の隊員たちは大変頑張りました＞

※回収したごみは 3 月 21 日（火曜日）高松市にて回収処分して頂きました。

（依頼先：環境局環境指導課適正処理対策室）

◇　８時５０分：河川ごみ回収調査終了

◇　９時００分：河川敷　バス出発

◇９時２０分：高松港第２桟橋到着　◇９時５０分：高松港第２桟橋より海上タクシー乗船・出港

＜桟橋で全員ライフジャケット装着後、乗船・出港＞

◇１０時１０分：高松沖男木島周辺海域・底曳網漁現場到着

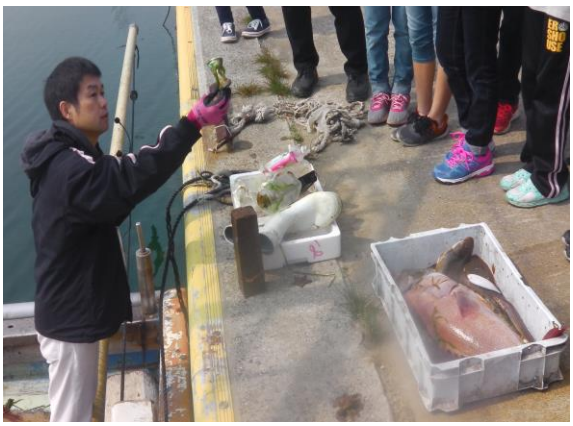
＜みずしま財団・塩飽先生より小型底引網漁について解説＞

海底ごみの回収方法　観察・見学

◇１０時３０分：同上・底曳網漁現場を出発

◇１０時４５分：男木東漁港に到着
　安全性を考慮し、漁港岸壁より本日の小型底引網漁の成果を見学

＜みずしま財団・塩飽先生より捕獲の魚介類と海底ごみの解説＞



＜操業時間約４０分程度の収穫・大物は長靴とコブダイでした＞

◇１１時３０分～１２時１５分：昼食・休憩

◇１２時３０分：男木大井海水浴場にて海岸漂着ごみＩＣＣ調査開始

＜隊員全員で一旦ブルーシート上に漂着ごみを全て集める＞

＜ICC データカードに集計＞　　＜重量も計量＞

『海岸漂着ごみ調査データ』（詳細集計カード及びデータ表別紙添付）

調査面積：１０ｍ×１０ｍ＝１００㎡

重　　量：合計 7.5ｋｇ

数　　量：破片／かけら類（ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｶﾞﾗｽ等）＝４８点（　５１％）

飲飲の容器包装類　＝１１点（　１２％）

生活用品等　＝１０点（　１１％）

水産用品（ロープ等）類　＝１０点（　１１％）

その他　＝１６点（　１５％）

合　　計　＝９５点（１００％）

※回収した漂着ごみは高松市男木出張所を通じ、都市整備局河港課にて引取り処分を依頼

＜海岸漂着ごみ調査終了＞

◇１３時００分：ＩＣＣ調査終了

ビーチクラフト用宝物探し（２０分）

◇１３時２０分：男木海水浴場出発

◇１３時３０分：東漁港・東瀬戸漁業協同組合倉庫着　ビーチクラフト教室開始

隊員は海岸で拾った宝物（貝殻・ビーチグラス）を利用して

ビーチキャンドルにチャレンジしました。（クラフトマニュアル別紙添付）

＜ビーチキャンドル作りに取り組む隊員たち＞

◇１４時３０分：ビーチクラフト教室終了

◇１４時４５分：男木コミュニティセンター　着

休憩（トイレ等）１５分

◇１５時００分：みずしま財団・塩飽先生による、海ごみ問題についての総合的座学学習会開始

＜座学学習に熱心に取組む隊員＞

＜1日目終了に当たり隊長よりレスキュー隊員認証缶バッチを贈呈＞

◇１６時３０分：座学学習終了

１日目体験学習終了

＜２日目：３月２０日＞

◇９時００分：男木コミュニティセンターにて　マイクロプラスチック回収体験　開始

※マイクロプラスチック回収方法及び確認方法

●ビーカーの飽和食塩水に海岸で採取した海砂を投入し攪拌

●静止後、上澄を篩に掛けて白いプラスチックをピンセットで採取

●シャーレー内のマイクロプラスチックを PC 接続のマイクロスコープで確認

●男木大井海水浴場及び屋島西町浦生海岸から採取した砂の両方から検出。

◇　９時４０分：マイクロプラスチック回収実験終了

◇　９時５０分：２日間の体験学習の総括として隊員間の意見交換後、
隊員１９名一人一人から学習会で得られた事等、感想の発表会開催

◇１０時３０分：２日目のカリュキラムを終了すると共に体験学習会全日程終了させ解団式を行った。

◇１１時００分：男木港よりフェリー乗船・出港　◇１１時４０分：県営桟橋到着

◇１２時００分：高松港県営桟橋にて解散

以　上